

郡山市 まちづくり基本指針後期見直し市民会議

# あすまち会議こおりやま キックオフミーティング



## 本日の予定

1. 開会挨拶
2. あすまち会議についてのご説明
3. 分かりやすい(?)実演コーナー
4. 事務連絡
5. ご質問 (終了後、個別でも対応します)

# 1. 開会挨拶

郡山市長 品川 萬里

# 始まる前に

「あすまち会議」は徹底した感染予防のもと開催します



- ①通常の半分以下の会場定員(座席間隔をあける)
  - ②休憩はいつでもどうぞ(トイレなどの密集を避ける)
  - ③常時換気しながらの開催(室温は少し上がりますが…)
- その他にも、マスク100%着用、体温測定、手指消毒、机や事務用品等消毒にご協力をお願いします。
- また、スマホをお持ちの方は 「COCOA」の常時起動をお願いします。

# 始まる前に

同時に「熱中症対策」にも万全の対策をお願いします！

- ①喉が渇く前に水分補給を！  
こまめに常に何か飲んでください。
- ②体調がおかしいと思ったら無理せず声をかけてください！
- ③ゆとりのある服装でご参加を！



## 2. あすまち会議についてのご説明

「あすまち会議こおりやま」の目的

● 2018(H30)年度からスタートした  
「郡山市まちづくり基本指針  
(あすまちこおりやま)」

- ・ 郡山市の行政運営上の最上位指針
- ・ 市民、企業、各種団体、行政にとっての共通指針
- ・ 長期的なビジョン(あるべき将来像)と、行政計画としての施策体系や事務事業を明記

市民の手で郡山の「あるべき将来像」と、そこに至る道すじを描きました。

# 「郡山市まちづくり基本指針」の計画期間

2018年

2025年



前期4年(2018~2021)

後期4年(2022~2025)

- 今年は「郡山市まちづくり基本指針」の後期4年間の推進に向けた中間見直しの年
- この4年間の社会経済情勢の変化や市の施策の進捗を反映させるとともに、  
「市民の手で未来を描く」

この4年間に何が起きたのか？

# 社会的なニュースなど

2018(平成30年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 大阪北部地震発生⇒全国のブロック塀強度不足問題</li> <li>• 西日本豪雨発生、台風21号など記録的災害連続</li> <li>• 働き方改革関連法案成立⇒時間外勤務制限、外国人労働者の新在留資格創設</li> </ul>
2019(平成31、令和元年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 令和元年東日本台風発生、郡山市でも甚大な被害</li> <li>• 豚コレラ感染拡大</li> <li>• セブンイレブンが24時間営業見直し発表</li> <li>• 金融審議会が「老後2,000万円必要」報告書公表</li> </ul>
2020(令和2年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 菅内閣誕生</li> <li>• 新型コロナウイルス感染症拡大(全小中高に休校要請、甲子園中止など)</li> <li>• 九州豪雨発生</li> <li>• 出生数過去最少(84万832人)</li> </ul>

大規模災害の頻発化、新型コロナウイルス感染症  
働き方改革や地方創生、少子高齢化の進展

# 郡山市の主な施策など

2018年(平成30年)



セーフコミュニティ国際認証取得



熱海フットボールセンターオープン



郡山市子ども条例制定



ほっとあたまみオープン  
西田学園義務教育学校開校 など

# 郡山市の主な施策など

2019年(平成31・令和元年)



SDGs未来都市に選定



郡山中央スマートIC供用開始



こおりやま広域連携中枢都市圏形成



笹川大善寺線全線供用開始  
麓山調整池、雨水貯留管完成 など

# 郡山市の主な施策など

2020年(令和2年)



学校への一人一台タブレット配置



公共施設、手数料などキャッシュレス化



あすまち会議こおりやまが  
「全国マニフェスト大賞優秀賞」受賞！



西部第一工業団  
地に続々と企業  
進出

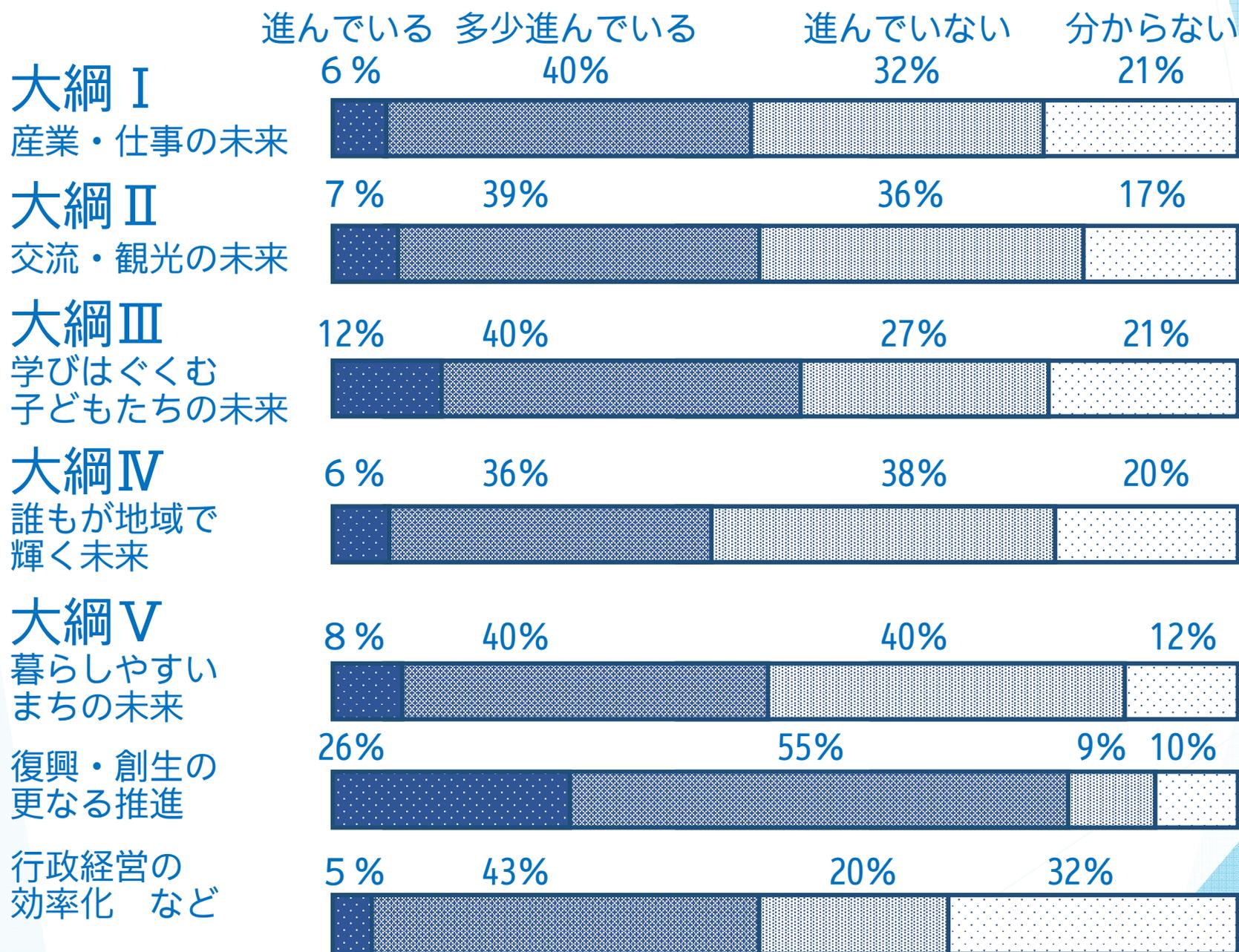
次世代エネルギーパーク計画認定  
防災コンパクト先行モデル都市選定など

# あすまち会議2020(オンライン)の内容

- 参加者：152名（無作為抽出した市民約5,500名に通知）
- 手法：非接触型（メール、かんたん電子申請、郵送など）で意見聴取
- 開催期間：2021年1月6日（水）～1月26日（火）

- ・まちづくり基本指針の5つの大綱それぞれの進捗状況について「市民の生活実感」を回答
- ・それぞれについての意見を伺った。

# あすまち会議2020(オンライン)の内容



# あすまち会議2020(オンライン)の内容

【大綱Ⅰ】西部第一工業団地の企業誘致が進んでいる。若い世代のお店が増えている。

【大綱Ⅰ】高齢者や障がい者も安心して働ける仕事があるとよい

【大綱Ⅱ】安積疏水や安積開拓は知名度も高い。

【大綱Ⅱ】年代に合わせた情報発信ツールを活用すればよいのでは

【大綱Ⅲ】引っ越してきたが、子育て世帯向けの施設や遊び場がたくさんあり、子育てに力を入れているまちという印象。  
学校へのタブレット配備が急ピッチで進んで驚いた。

【大綱Ⅰ】子育て世帯がもっと流入してくるとよい

# あすまち会議2020(オンライン)の内容

【大綱Ⅳ】高齢者にも活気があり暮らしやすい。

【大綱Ⅳ】女性が活躍できる社会になれば。市民が傍観者になっているので更なる社会参加が必要

【大綱Ⅴ】田舎と都会の中間で住みやすいまち。水害対策の工事や笹川大善寺線の開通などで利便性が向上している。

【大綱Ⅴ】台風やコロナなど不安を感じるが多くなった。

【行政経営効率化など】広域的、長期的視点で近隣の市町村とも連携してほしい。

【行政経営効率化など】デジタル化をもっと推進しては。市の取組が市民に認知されていないので、更なるPRが必要

# 未来の予測とバックキャスト思考

## 未来の年表

何年頃	何が起きるのか
2024年	団塊世代がすべて75歳以上となり社会保障費が増大
2030年	東京近郊のベッドタウンがゴーストタウン化 IT人材が最大79万人不足
2040年	全国の自治体の半数近くが消滅危機 団塊ジュニア世代が大量退職で後継者不足が深刻化
2042年	日本の高齢者数がピーク
2050年	世界の人口が97億人程度となり食糧争奪が激化
2053年	日本の総人口が1億人を割り込む
2065年	現在の居住地域の20%が無人化、国境問題深刻化
2115年	日本の総人口が5,000万人程度に

# 将来からのバックキャスト思考

C02排出実質ゼロ

自治体戦略2040構想

2025年問題

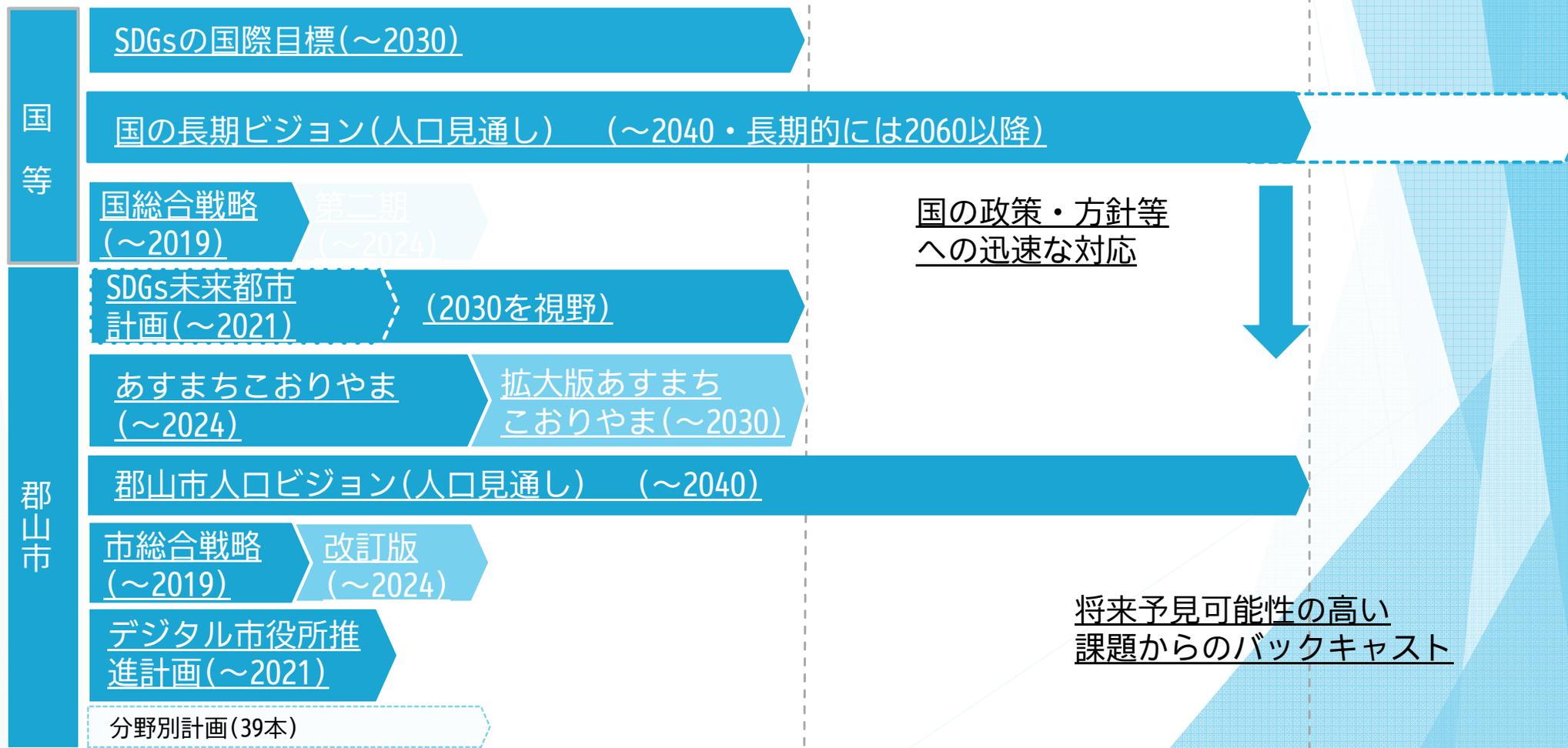
SDGs国際目標年限

2025年

2030年

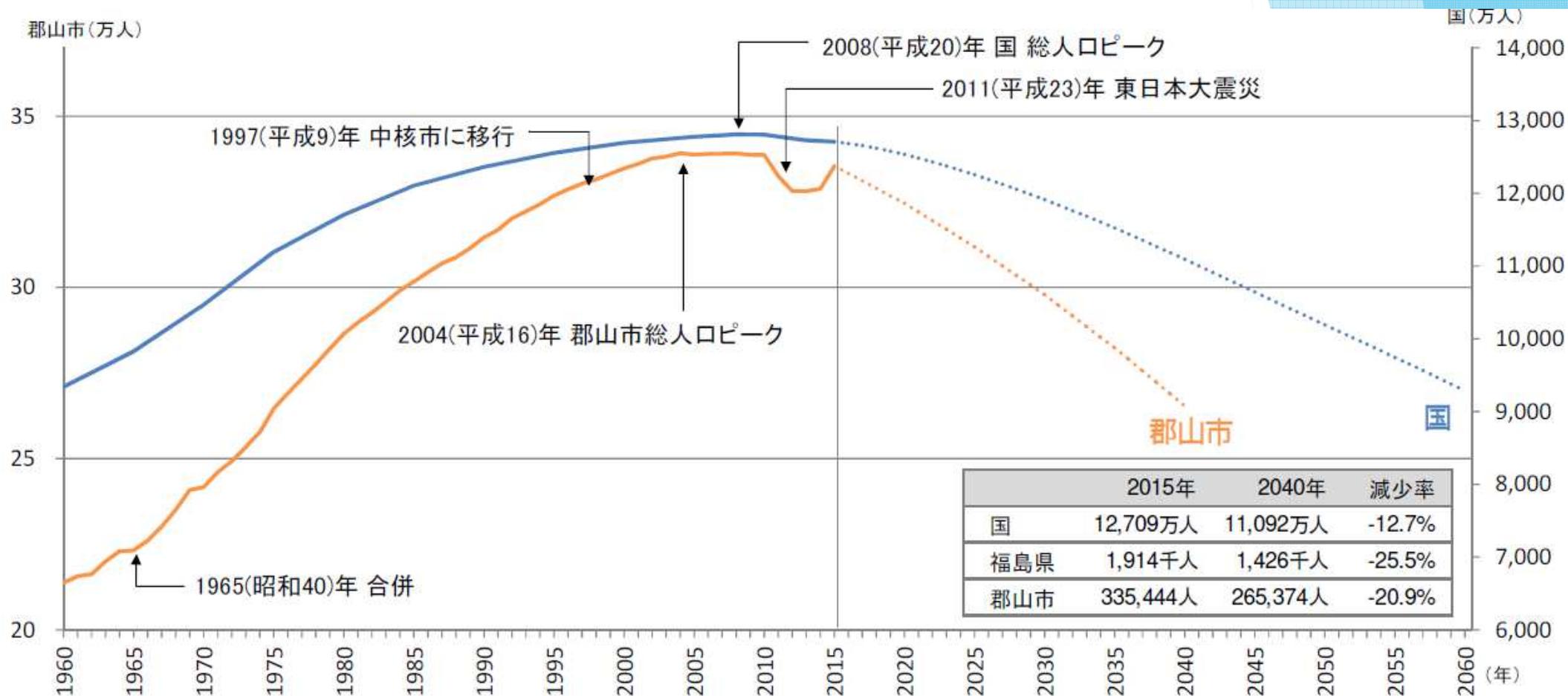
2040年

2050年



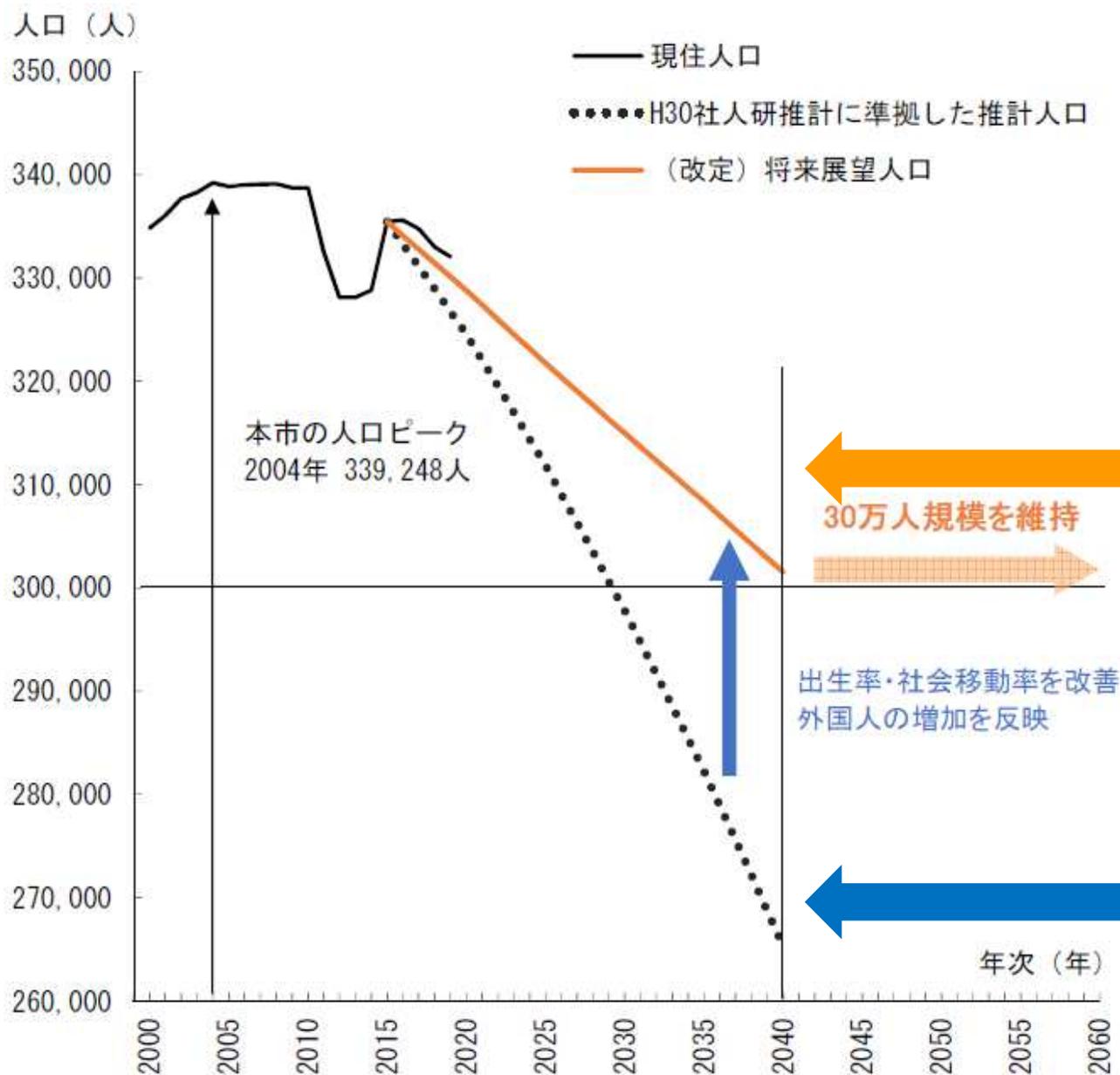
将来予見可能性の高い  
課題からのバックキャスト

# 郡山市の将来人口推計と展望人口



日本全体が既に人口減少局面に突入  
地方においては一層人口減少が加速すると予測

# 郡山市の将来人口推計と展望人口



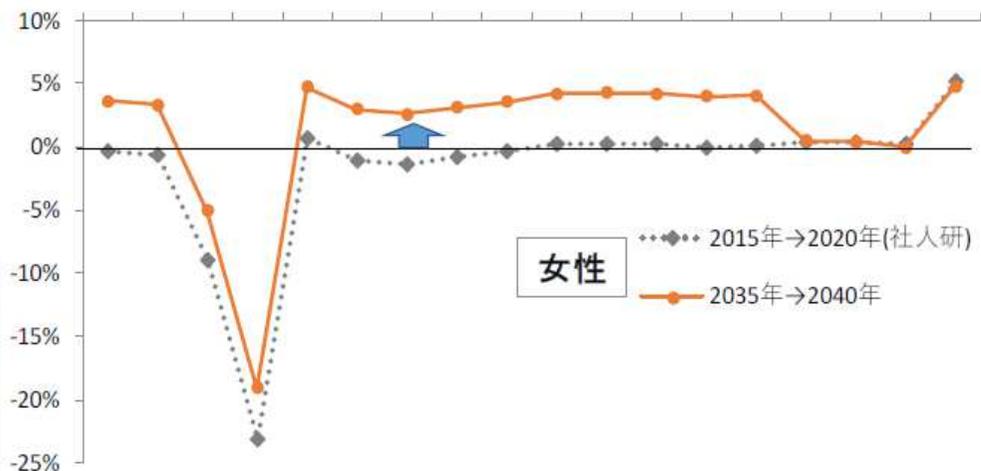
展望人口としては  
30万人規模維持を  
提示

国の将来推計に準拠  
すると、2040年に  
約265,000人

# 郡山市の将来人口推計と展望人口

74歳までの社会移動率を段階的に改善  
(2040年時点で最大約4ポイント)  
※現ビジョンの0~44歳を拡大

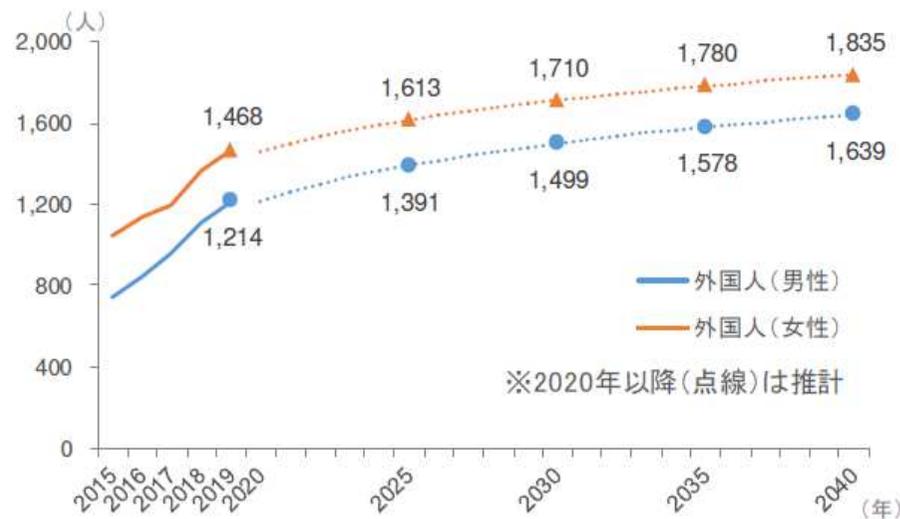
社会移動率 = (転入 - 転出) / 期首人口 × 100



合計特殊出生率を段階的に改善  
(2014年 1.49 を 2040年 1.80 へ)



新たに近年の外国人の増加傾向を将来推計に反映



# 「あすまち会議こおりやま」の位置付け

市民

郡山市

あすまち会議こおりやま

地区懇談会

市民インタビュー

わかもの政策討論

市民意識調査

パブリックコメント

協働

庁内策定体制

ワーキンググループ

有識者による審議会

諮問・答申

議会

説明・意見

行政や市民という立場を超えて話し合う場

# 「あすまち会議こおりやま」の特徴

① 無作為抽出

- ・ 市民の人口構成に対応
- ・ サイレントマジョリティ

② 平等な立場

- ・ 立場も年齢も関係なく
- ・ 個人の想いと願いが基本

③ 高い透明性

- ・ 過程や結果を広く公開
- ・ マスコミにもオープン

④ 建設的な議論

- ・ あるべき将来像を描く
- ・ 描いた未来から今を考える

# 「あすまち会議こおりやま」の経緯

## 2016年10月 本市初となる無作為抽出による会議 「あすまち会議こおりやま」を実施

※テーマは本市最上位計画である「総合計画」

- 3,000人を無作為抽出、全7回の討議によりのべ208名が参加
- 市民それぞれの本市に対する想いや願いにより将来構想を描いた。

## 2017年7月 「あすまち会議こおりやま2」を実施

※テーマは引き続き「総合計画」

- 2016年度の参加者に加え公募による参加者も追加
- 前年度描いた将来構想をもとに、分野別構想をストーリーとして描き、「演劇方式」により発表・提言。

## 2019年 「あすまち会議こおりやま2019」を実施

※夏の部3回（テーマ「総合戦略改定」）  
秋の部3回（テーマ「歴史・文化遺産」  
「歴史情報・公文書館整備」）

- 5,000人を無作為抽出、夏・秋あわせてのべ459名が参加
- 夏の部では総合戦略の改定、秋の部では歴史・文化遺産をテーマに、それぞれの現状や理想の将来像に対する意見交換を行った。

## 2020年 「あすまち会議こおりやま2020」を 文書・オンライン開催により実施

※テーマは「郡山市まちづくり基本指針」の進捗状況

- 5,000人を無作為抽出、「新しい生活様式」を踏まえ、書面・オンラインの手法により、あわせて152名が参加
- 「郡山市まちづくり基本指針」の進捗の生活実感の聴取や、市民相互の質問・メール交換を行った。

## 2021年 「あすまち会議こおりやま2021」 開催

※テーマは「郡山市まちづくり基本指針」の後期見直し

- ・ 5,000人を無作為抽出、7月から8月にかけて全6回開催
- ※ついに各回の参加者100人超え（コロナに十分注意し開催！）
- ・ 「郡山市まちづくり基本指針」の後期見直しをテーマに、本市の将来像を、市民がその手で描きイラストで表現する！













2日目「麓山地区まち歩き（振り返り）」

麓山地区の特色

歴史・文化遺産の過去・現在・未来

5日 未来（あす）へ伝えたい“こおりやま”の未来（将来に届けたいもの、理想の歴史・文化遺産との関わり方）

3 麓山地区のあふむ、必要な機能



具体的にどうということをするのか？

何よりも大事なものは、

皆さんの「**想**い」や「**願**い」

よくある典型的な「都市像」や  
行政が用意している「正しい答え」は  
ありません。

一人ひとりの「想い」や「願い」と  
あるべき未来が  
一本につながるということ

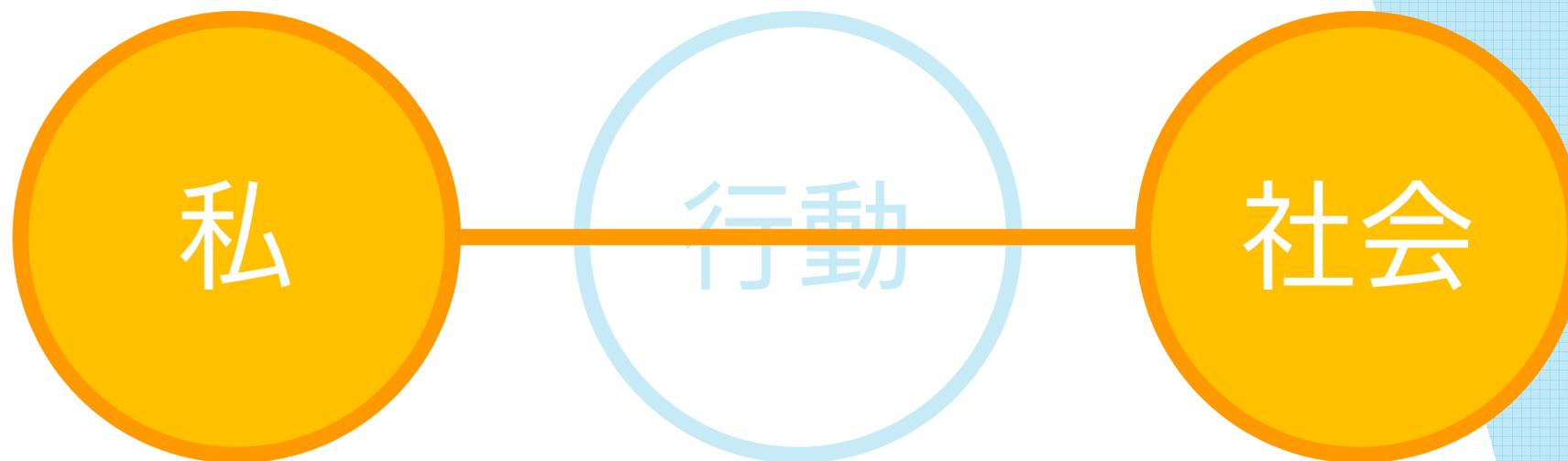


個人的な想いや願い  
価値観・こだわり

具体的な行動  
社会との関わり方

あるべき未来  
将来像や地域像

※ これは、「マイ・プロジェクト」という手法で、起業家育成や学生、企業の  
人材育成や社会貢献プログラムなどで実践されている手法です。



- ①私の「想い」や「願い」の根っこをつかむ。
- ②私とつながった「社会(未来)」を描きます。

- あすまち会議のワークショップでは、参加者一人ひとりの個人的な体験や希望を何よりも大切にします。
- 一人ひとりの価値感や感じ方を大切にしながら、自分が思うあるべき未来、将来像を考えます。
- グループで共有し、具体的な将来像を明確化していきます。



### ③理想を実現するための手段を考える。

- 私の「想い」や「願い」と「あるべき未来」の間を埋める小さなステップを関連付けて積み上げていきます。
- グループで話し合い、あるべき未来にはどんなこと（もの）が実現されていけばいいのか描きます。

## 全体の進め方

### ① キックオフイベント（本日）

まちづくり基本指針、会議概要説明

### ② ワークショップ（全4回）

1回目：各分野の現状と課題、皆さんの想いを整理

2回目：理想の未来を思い描き、共有

3回目：理想の未来を「見える化」

4回目：理想の未来をみんなで描こう

⇒ アドバイザーの指導のもと自由に描く！

### ③ 発表会

皆さんの描いた理想の未来を市に提言

# アドバイザー紹介

## プロフィール

イラストレーター。  
1967年神奈川県川崎市生まれ、須賀川市育ち。  
広告代理店のデザイナーを経て、1991年、フリーのイラストレーターとなる。  
2005年春から郡山市在住。



アドバイザー  
コーチ **はじめ 氏**



無印良品やハウス食品の全国キャンペーンのほか、カーサ・ブルータス、Frau、婦人公論ほかの雑誌、林真理子、向田邦子、椎名誠などの書籍の装幀などを手掛ける。

県内でも福島県立美術館の来館記念スタンプ製作、矢吹町「未来すくーる」、県内のカフェでの個展など地元の人たちの温かさに支えられながら、地域にチカラを与える活動を展開している。

ワークショップってはじめてですか？

基本ルールはとっても簡単！

## ワークショップの基本ルール

### ① 前向きでポジティブな意見を出す

「あるべき将来像」に向けて建設的な議論をしましょう！  
「これが困る」を「こうすれば解決」に転換！

### ② 平等かつ自由に話し合いに参加する

1人で延々と話をしたり、人の話をさえぎらないように！  
最初から答えを準備しないで自由に流れを楽しみましょう！

### ③ 意見が重複してもオーケー

重複するということは強い意見だということです！  
無駄になる意見は1つありません！質より量が重要です！

### ④ 意見に所有権はない

人の意見を聞いてピンときたらどんどん発言しましょう！  
どんどん便乗して発展させればみんながハッピー！

それでは実際に見てみましょう！

劇団「政策開発課」の  
「いいワークショップ  
悪いワークショップ」 実演コーナー！

## 最後に…まとめ

### ① めざすこと

皆さんの「想い」や「願い」に基づく「あるべき未来」が見えてきて、具体的に描くことができている！

### ② なにをする

イラストでまさに未来を「見える化」する！  
楽しく前向きなグループワークをしましょう！

### ③ わたしたちの役割

批評家ではなく提案者であり実践者です。  
ともに「あるべき未来」を描き、そのためになにができるのか考え、行動に移しましょう！

### ④ おやくそく

ワークショップの基本ルールを守りましょう！  
結果ではなく、みんなで話をする過程を楽しみましょう！

## 事務連絡

### ① ワークショップの会場案内

# ミュージカルがくと館

事前にお送りした  
「会場案内」を  
ご覧ください。



## 事務連絡

### ② 謝金支払いの口座登録

事前にお送りした以下の書類の提出をお願いします。

- ・ 謝礼等支払口座記入用紙
- ・ 個人番号提供同意書

※参加者本人以外の口座に振込む場合は、  
「委任状」も必要です。

まちづくりに「正しい答え」はありません。  
それは未来において判断するほかないのです。

でも、私たちには、それが「**楽しい答え**」か  
どうか判断することはできます！

参加者のみなさん、まずは  
この「あすまち会議こおりやま」を楽しんでください！

我々が未来を知る方法は2つある。

1つは実現可能性の高い事例を学ぶこと

もう1つは

**「自ら未来を創ること」**

皆さんが望む未来を描き、  
自分たちの手で創りだそう。

ワークショップでお会いできる  
のを楽しみにしております！

